



地域のフードシステムの診断と 食品関連事業者、行政部門における課題共有 ー地域圏食料プロジェクトの構築を目指してー

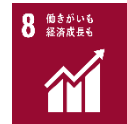
都市経営学部都市経営学科 教授 清原 昭子

キーワード

地域食料政策、地域圏フードシステム、全ての人のためのフードセキュリティ、暮らしやすい地域、食料経済

該当するSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1 研究内容

地方都市とその周辺地域における食料政策についての研究を進めています。FAO が提唱するフードセキュリティの観点から、平時において、安定的に食料を住民に「届ける力」の重要性が指摘されています。平時のフードセキュリティの確保のためには、地域圏の実情に沿ったフードシステムの強化が求められますが、そのためには一次生産から消費にいたる地域のフードシステムの診断が必要です。

当研究室では、農林漁業、食品製造、卸売、小売、消費に至る定性的、定量的な実態把握(診断)を行うことで、地方自治体内での課題認識を進め、さらに地域圏食料プロジェクトの中心的役割を担える組織や事業者を発掘していきます。以上を通じて、福山市が中央卸売市場を持たない自治体におけるモデルづくりの嚆矢となることを目指します。

2 連携可能性のある研究分野, 又は, これまでの連携実績

連携可能性のある研究分野

- ・福山市における課題認識に至るために必要な以下の実態調査
食品関連事業者に関するヒアリング調査、統計解析、事業特性、経営状態、後継者の有無の把握
- ・専門職業者によるラウンドテーブルを囲んだ意見および情報交換の実施。
想定される事業者:市内農家、県内農家、地域事業者(地元資本)であるスーパーマーケット、食品製造業者など
- ・福山市の行政内部における関係各部署のヒアリング調査および連携の模索
想定される部署:農業、食品産業、商業、健康福祉、子ども子育て、学校教育に関連する部局
- ・福祉、教育、まちづくり

これまでの連携実績

- ・農業経済学・フードシステム研究者と農林水産省職員有志による共同調査・研究
「地域食料ビジョン研究会報告書」(令和4年4月)
農林水産省大臣官房新事業・食品産業部企画グループWebサイト内にて公開中
https://www.maff.go.jp/j/shokusan/kikaku/chiiki_shokuryo.html